

## [B部会 発表要旨]

### Web会議システムの活用について

岐阜県総合教育センター  
指導主事 小川 陽介

#### I はじめに

岐阜県教育委員会は、「教職員の働き方改革」の取組の1つとして、平成30年4月に飛騨地区の県立学校にWebカメラとマイク+スピーカーを配付し、特定の研修において、学校にいながら受講する研修を実施した。同年6月には全ての県立学校に配付が完了し、いつでも気軽にWeb会議システムを利用できる環境が整い、初任者研修・基礎形成期（2～5年目）研修・重点講話等の各種教職員研修において活用した。整備後は教職員研修のみならず、授業や学校行事等の教育活動、学校間の交流や教職員の会議等、活用の幅が広がっている。本発表では、その活用実践例について報告する。

#### II 取組概要

##### 1 Web会議を行うICT環境の整備

Cisco Webex meetingsのWeb会議システムを2ライセンス導入  
全ての県立学校にWebカメラ+マイク・スピーカーを配付

##### 2 平成30年度活用実践例

- (1) 研修での活用例（32回）  
教職員研修、校内研修など
- (2) 授業での活用例（71回）  
課題研究発表会の遠隔配信、講演会の他校配信、県外・海外との交流など
- (3) 会議での活用例（52回）  
地区校長会議、特別支援学校高等部会、地区情報部会、図書館部会、職員会議など

#### III 成果・課題と今後の方向

既存のテレビ会議システムと連携しながら、県内の6つの地区（岐阜・西濃・美濃・可茂・東濃・飛騨）の学校を結んだ各種研修及び学校教育活動での活用や、各地区における学校を結んだ会議での活用を推進した。令和元年度は、5月から県立学校だけでなく市町村の要望にも応えられるようにWeb会議室システムのライセンスを1つ増やし、支援できる体制を整えた。また年度内に、さらにWeb会議室システムのライセンスを2つ増やし、個々の児童生徒の状況に応じた遠隔教育に活用する予定である。今後も多様な学びや働き方改革の1つのツールとして、毎年100回以上の活用を目標に推進するとともに、活用内容の質についても向上を図っていく。